

2017 年 12 月 19 日

各位

会社名 住友金属鉱山株式会社
代表者名 代表取締役社長 中里 佳明
(コード番号 5713 東証第1部)
問合せ先 広報 IR 部 田崎 秀信
(TEL. 03-3436-7705)

クロマイト回収事業への参入について

住友金属鉱山株式会社(本社:東京都港区、社長:中里佳明)は、主にステンレス鋼の原料となるクロマイトの回収事業への参入を決定いたしました。

当社は、当社子会社であるタガニート HPAL ニッケル社(所在地:フィリピン国ミンダナオ島、社長:肥後 亨、以下「THPAL」という。)にクロマイトの回収プラントを建設し、2020年より生産を開始する予定です。

クロマイト(注1)は、中間製品であるフェロクロムに製錬加工され、ステンレス鋼をはじめ特殊鋼向け原料として幅広く使用されており、当社はこのクロマイトを THPAL のニッケル・コバルト混合硫化物(注2)の製造工程から回収いたします。

当社は、ニッケル・コバルトのみならずスカンジウムやクロマイトなどの副産物を効率的に回収することで当社の HPAL 技術(High Pressure Acid Leach: 高圧硫酸浸出法)のコスト競争力を高めます。また、ニッケル事業の主要な製品供給先であるステンレス業界向けに新たな素材を提供することで、世界のニッケル事業における当社の存在感を更に向上させて参ります。

<クロマイト回収事業化の概要>

1. 投資額: 31 百万米ドル(予定)
2. 製造能力: 10 万 5 千トン/年(クロマイト量)
3. 製造拠点: THPAL
4. 生産開始時期: 2020 年を予定しております

注1) クロマイト: クロム、鉄、マグネシウム等を主成分とする酸化鉱物で、クロム鉄鉱のこと。酸化クロムの品位が 40~50%のものが多い。

注2) ニッケル・コバルト混合硫化物: 電気ニッケル等を製造するための中間製品。(ニッケル品位約 55%、コバルト品位約 4%)。全量が当社ニッケル工場(愛媛県新居浜市)にて処理され、電気ニッケルおよび電気コバルトに製品化される。

以上